

# 看護師を長く続けてわかったこと

著者：宮子あずさ 発行：デコ 定価：1,980円（税込み）

ベストセラー『看護婦だからできること』から30年。

「思ったより、できることが増えない」という壁に、  
宮子さんは、どう折り合いをつけてきたか。

患者さんとのつきあいは、いつも泣いたり、笑ったり、怒ったり…。  
ときに無力を感じることもあるけれど、なんとか看護師として  
生き延びてきた宮子さん。臨床40年の忘れがたい体験の数々を  
つづります。すべての看護する人、ケアする人への応援歌です。

- 目次 第1章 病気になるのは、それだけで本当に大変なこと
- 第2章 病気は運。そう考えることにした
- 第3章 いつもじゃないけど、看護は自分との闘い
- 第4章 臨床を離れたら、きっとわからなくなる
- 第5章 動物の死・人間の死
- 第6章 あえて倫理的葛藤を引き受ける
- 第7章 管理職を経験したからわかったこと



大事なのは、できることよりわかること 「はじめに」より

どんなにがんばって看護をしても、命を救えない人はいる。さらにその死が穏やかでない人も少なからずいる。私は救えなかったし、穏やかに死なせてあげることができなかったけれど、そうした人がいた事実や、自分たちが無力であったことは、身をもってわかった。これは、仕事のつらさや患者さんの苦しみを理解するうえで、価値があることだと考えるようになりました。

看護師にとって大事なのは、できること以上にわかること。患者さんの命を救うことはできなくとも、その人の経過からわかったことは、決して奪われない。私たちはその経験を生かしながら、一歩ずつ患者さんに歩み寄っていくことができるのです。

宮子あずさ 1963年東京生まれ。明治大学文学部を中退し、東京厚生年金看護専門学校で学ぶ。看護師として働きながら著述を行なうとともに、大学通信教育で学び、東京女子医科大学大学院で博士（看護学）を取得。著書『看護婦だからできること』『看護婦が見つめた人間が死ぬということ』『気持ちのいい看護』など。

ご注文申し込み書 貴店名/帖舎	注文数	発売：株式会社デコ
	冊	<b>看護師を長く続けてわかったこと</b> 著者：宮子あずさ 発行：デコ 四六判/並製/256P 定価 1,980円（本体 1,800円+10%税）ISBN978-4-906905-26-3 C0047

ご注文は（株）JRCへ FAX：03-3294-2177（TEL：03-5283-2230）

株式会社JRC経由で、すべての取次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。